COMPASS 発達支援センター熊本東

令和2年 10月 11 日訪問

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和3年2月1日公表

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容や改善目標
環境・体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動内容や発達状況に応じて、活動スペースを分けるなど、引っ、職員が担当に協力しやすい環境を作っています。	法令で定める基準より上のさせるものの、利用児童が集中する時間帯では手狭感を感じたため、今後も活動内容やグループ分けなどに更に配慮し、工夫していきます。
	職員の配置数は適切である	○		児童人数1人ひとりの活動への配慮の為、関わり方など、日と手の行き届き支援に取り組める保育士、児童指導員の配置をしています。	今後も法令で定める職員の配置基準以上の職員を、支援の状況や活動内容に応じて適切に配置していきます。
	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備環境、バリアフリーなど今現状伝達等への配慮が適切になされている	○		取り組む内容に応じて役割毎に応じた場所を分け、「何をやる」「誰をやる」、などがひと配慮を行っています。	移動時のつまずき、トイレ利用時の姿勢の安定の環境等に向けて、さらに改善を検討し、取り組んでいます。
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる空間になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		コロナ禍であることを配慮し、机、椅子等をアルコール消毒、毎日徹底消毒しています。また活動空間は、活動内容や利用時ーム人ひとりの状況に対応できるよう配慮しています。	座生環境への意識をより強く持ち、さらに配慮しています。また、活動内容に応じて、一人ひとりが切で良くすごせるような「視覚的な支援」を用いた環境もやれい環境を整えています。
業務改善	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		日々業務開始前の朝礼または昼礼時に目標への取り組みの意識付けと、評価の共有に取り組んでいます。	今後も日々の行合せで職員全員の実践、目標に対する意識共有と、実践と実施に取り組んでいます。
	保護者等向け評価表により、保護者等に対する、事業所の評価を実施するとともに、保護者の意見等を把握し、業務改善に活用している	○		年に１回保護者様へアンケート調査を行い、保護者様の意見等を確認できる機会を設けています。	今後も保護者様のご意見を頂き、職員一人ひとりが、ご意見を共有し、問題の改善課題を挙げて、業務に取り組んで参ります。
	事業所の自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による全支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会議やホームページ等で公表している	○		自己評価の結果は公式 web サイトに公開しております。	今後も公式 web サイト上に公開を行っていきます。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		開始させて第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後課題として検討してまります。
	職員の資質向上のために、研修の機会を確保している	○		光内及び外外で行われる研修には、参研機関に参加しております。今年度はコロナ感染症の影響で研修機会は多くありますがいた。	今年度は、会社の方式による研修動画コンテンツで研修しておりましたが、コロナの終息後は外部研修に参加しの参加し、研修で学んだことを職員間で共有し、資質向上に努めて参ります。
	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を明確的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		定期的なアセスメントを完発育が相当し、児童や保護者様のニーズを踏まえて支援計画を作成しています。また、全職員に周知することで、支援の統一を図っています。	今後も定期的にモニタリングを行い、児童や保護者様のニーズを踏まえた支援計画書の作成に取り組んで参ります。
	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		標準化されたアセスメントツールを用いて、児童の特性を把握した上で取り組ります。その中の状況を把握しながら、ご家庭の状況を考慮しながら、その中の状況を把握しながら、ご家庭の状況を考慮しながら、その中の状況を把握しながら、ご家庭の状況を考慮しながら、